

令和4年度第3回多文化共生推進部会（書面開催） 委員意見のまとめ（1/2）

	A委員	B委員	C委員	D委員
意見	<p>1) プランの3つの基本方針について、「1 地域社会における活躍の推進」「2 誰もが安心して暮らせるまちの実現」の順番を入れ替えたほうがよいと思います。外国人住民が安心して暮らせるようになった時に、活躍してもらえらると思われるので。</p> <p>2) 外国人住民への偏見や差別の解消に向けた取り組みの強化が必要と思われます。今回の調査結果を区民全体に周知することや人権・男女共同参画課と連携して、多様性や人権尊重に関する啓発を推進することが必要と思われます。また、学校において、国際理解教育では不十分で、人権の視点に立った多文化共生教育が必要と思われます。</p> <p>3) 次期プラン策定に向けた論点の一つに、「多文化共生について、日本人側の意識が不透明」とありますが、他の区が実施しているように、外国人住民だけでなく、日本人住民の調査が必要だと思われます。</p>	<p>施策1(2)の「地域活動への参加促進-外国人が地域住民の一人として地域社会に参加し、活躍できるように、地域コミュニティやボランティア活動への参加を促進します」について、外国人だけでなく、日本人もともに地域活動に参加をしていくことができる仕組みづくりが必要かと考えています。その後の多文化共生社会づくりを見据えて、日本人も外国人も地域住民として、地域社会に参加し、活躍できるような「きっかけづくり」から「継続的支援・支援」へと繋げていけるような、インセンティブと、持続性のある仕組みを具体的に検討する必要があると思われます。</p>	<p>継続・強化すべき点 基本方針1：地域交流・地域活動への参加促進 基本方針2：-1(生活支援・多文化コミュニケーションの場としての)日本語支援 -2外国につながる子どもの日本語・学習支援 基本方針3：-1差別解消に向けた、ホスト社会の人権意識の醸成 -2多文化共生・国際交流団体活動の支援 全体：外国につながる人の声を発信する場の充実</p> <p>次期プラン策定に向けた論点 基本方針1：-1地域自体が、外国人区民の受け入れをどのように考えているのかの把握が必要。全体的に意識が薄いのであれば、モデル地域の設定などで、先行事例をつくることも有用ではないか。 -2外国人区民自身の、地域への参画のイメージの把握。 -3交流事業と地域活動参加を合わせたプログラムの検討 例：自治会行事の体験プログラム 基本方針2：区が行う日本語学習支援の目的・方向性 基本方針3：-1人権意識の醸成・啓発活動への具体的な提案を検討する。条例の趣旨に合わせ、男女共同参画と一体で取り組めないか。 -2多文化共生を目的とした団体だけでなく、(福祉、教育、文化など関連領域団体による)多文化共生を目的とした活動も支援する。 全体：地域にすでにある社会資源や、取り組みを可視化する。</p>	<p>特段の異存はございません。 なお、多文化共生の推進のためには、区内在住の外国人の受け止め方もさることながら、何よりも日本人区民に対する意識啓発が重要だと思われます。 そこで、今後、区民の意見を募集されるようですが、現状把握のためにもパブコメなど、幅広い層の区民からの意見の吸い上げをお願いいたします。</p>

令和4年度第3回多文化共生推進部会（書面開催） 委員意見のまとめ（2/2）

	E委員	F委員	G委員	H委員
意見	<p>災害時などに対する備えの充実 この文章に、異議はありませんが、対応できる体制の設備とは？ 地域社会において、受け入れ側として世田谷区町会連合会等でも、いつ起きるか分からない災害時の受け入れについて考えておく必要があると感じております。連合会でも受け入れ態勢など話し合う機会を持たせていただきます。 例えば、町会に1台翻訳機を供与する等、多文化の方々とまずは言葉の壁は大変大きいと思っております。いざという時に大変有効かとも思いますし、町会役員にも考える良い機会になると思います。</p>	<p>全てにおいてまずは区民の意識改革の重要性を感じました。 区民への情報発信をしても、それをキャッチする区民が少ないのかと感じ、どれだけ区民が基本方針を知っているのかわかりませんでした。 地域社会における外国人の活躍について、日本人側の意識が不透明な論点がある点からもヒアリングや書面調査が重要になるかと思われました。例えばそこから、外国人との興味のマッチングや、交流事業や場づくりの仕組みづくりを考えることができるかも知れません。また、興味があっても言葉の問題で参加しにくいなどあるかと存じます。 すでに行っているかも知れませんが、区の地域のお祭りや盆踊り、ボロ市（世田谷線）、フリーマーケット等、人があつまるイベントとコラボして外国人が誰でも参加しやすくなる工夫の拡大が大切かと思いました。</p>	<p>ヒアリング調査について ・ヒアリング調査実施によって外国人区民の状況、具体的なお困りごとを知ることができました。そして区内にも深刻な差別があること、差別や偏見の中身が明らかになったと思います。（21）にある声は、広く区民に伝えることも重要だと思います。若者が区の広報になっている「ねつせ！」に告知してもらおうなど。声のページをつくり、SNSなどで区民全体に知らせていくこともできると思います。 ・（3）情報の入手先・情報発信について、情報を探す人や相談したい人に対してのサイトや多言語対応は進んでいると思います。加えて必要だと感じるのが、メルマガやダイレクトメールです。公式アカウントに登録すると必要な最新情報が届くしくみなど発信型の情報提供は必要だと思います。 ・（4）多言語表記・やさしい日本語について、やさしい日本語は口語としては効果的ですが、文字情報は英語情報になったときにはわかりづらさがあることが読み取れました。文字情報は英語翻訳をつける方がよいのではないのでしょうか。 ・（8）困りごとについて、家探しと仕事探して困らないことは、生活基盤を整える上で最重要だと思います。実際に効果的な解決策は見出せていますか。とりわけ外国人の家探しの困難は、日本全体でおきている社会課題でもあるため、公営住宅の提供、不動産業者への働きかけ、サポート体制、空き家の活用など、現状のプランを確認し、世田谷区として実効性の高いプランを定めていくことができると嬉しいです。 ・（13）世田谷区への期待について、「交流の場がない」という状況だと思います。交流施設としてCrossing世田谷がありますが、交流拠点がありますよというだけではなく活用されることが次に重要になると思います。地方の物産があるアンテナショップのような人が訪れるイメージの拠点になるとよいですね。人が訪れるところにふれあいや交流が生まれると思うので、他部で行うイベントとの連携などもよいと思います。 論点整理について ・基本方針1について 交流・参画の促進の前に、困りごとの解決が重要だと感じました。また、交流機会、参画機会の創出だけが達成指標にならないように。その意味で（3）意識啓発を論点として入れたのは良いと思いますが、その中身として実効性の高い取り組みはなんであるか具体的にしたいです。 ・基本方針2について ここが極めて重要だと思います。 （1）コミュニケーション支援において、大切な情報の到達度を高めるための施策について議論が必要です。登録者にメルマガ発信など。 （2）生活支援 > 教育機会の確保について、先日三宿夜間中学を見学しました。ほとんどが外国人の若者でした。コロナで生徒数は半減されていると聞きましたが、丁寧な授業が行われている現場ですばらしいと感じました。こうした選択肢がしっかりと認識されればと思います。 （2）生活支援 > 労働環境の確保として、労働環境の確保と住宅確保の支援を新たな論点として挙げていただきました。生活基盤を整えることは非常に重要であり、家、仕事、教育が整えば、交流や参画にもつながっていくと思います。どのような支援に力をいれるべきかを明確にしたいです。 ・基本方針3について 「区民の差別意識を払拭するためのアクション」という部分は論点の一つではないかと思えます。</p>	<p>1）ヒアリングなど、非常に丁寧な作業を進めてくださっていることと思います。全ての資料にかかるポイントですが、「外国人」という呼び方をなくす方向をご検討いただくことを提案したいと思えます。利便性のための仕様だと承知しておりますが、日本人対外国人という痛図ができてしまっており、同じ区民であることから来る協働の可能性や多文化共生の意識が薄まってしまいます。世田谷区がこれまでもいろいろ取り組みにあたって、先駆的な役割を果たしたと同様に、「多様な背景のある区民」や「移民背景を持つ区民」（「移民」の場合、「ゲスト」「他者」というニュアンスが減り、長期滞在者である意味合いも強調されます）など、ご検討ください。 2）【資料3-1】（論点整理）「外国人等が、地域社会の一員として様々な活動に参加し貢献できるように、外国人自らが地域課題を捉え、参画する機会をつくります。」という点について、非常に重要なポイントだと思います。地域活動を行っていただくためのキーパーソンを通じての呼びかけを実施していただければ幸いです。 3）「ヒアリング調査」の集計結果(速報値)では、「外国人等への偏見や差別の解消」とありますが、無意識的な差別が大半を占めると思えますので、差別をなくす目的で、どのような差別の事例があるかなど、動画を通じて紹介するのが良いと考えています。また、差別（細かな事例など）についての講座などを聞いていただくと、学びやすいと思えます。</p>